

上がったままの フォークリフトのツメに 刺さり死亡

作業前は、『事前打合せ』

作業中は、『周囲の安全』を確認しましょう

慣れてきた時ほど慎重に!

慣れてきた時ほど

流れ作業におちいりやすくなります

フォークリフトがバック中
別のフォークリフトのフォークが上がったままで
上げた状態のフォークにバックで激突
フォークが腰に刺さり出血性ショックで死亡

フォークを最低降下位置まで下げる処置せず

2024/3/15(金)

労働基準監督署は15日、労働安全衛生法（事業者の講ずべき措置等）違反の疑いで、加工食品の管理業者と、同社副社長の男性を地検に書類送検しました。

送検容疑は2022年10月14日、倉庫で資格のない従業員男性に最大荷重1トン以上のフォークリフトを運転させ、危険防止措置を取らせていなかった疑い。

従業員男性は袋入りの冷凍サツマイモを運搬中に最低降下位置まで下げるべきフォークを、床から1.2メートルに上げたまま停車し、運転席を離れていました。

別のフォークリフトを運転していた男性＝当時（67）＝が、上げた状態のフォークにバックで激突、腰に刺さり出血性ショックで死亡しました。